

会 議 録		
会議名	第 2 5 回日野市地域公共交通会議	
日時	平成 2 9 年 2 月 2 7 日 (月) 1 0 : 0 0 から 1 0 : 5 0 まで	
会場	日野市役所本庁舎 5 0 1 会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 岡田課長、 壁巢課長補佐、高橋主事
議題	議事 (1) 平成 2 8 年度事業について (報告事項) (2) 平成 2 8 年度利用状況について (報告事項) (3) 平成 2 8 年補正予算 (案) について (協議事項) (4) 平成 2 9 年度予算 (案) について (協議事項) (5) 平成 2 9 年度事業計画 (案) について (協議事項) (6) その他 (報告事項)	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0 名	
1. 開会 2. あいさつ (会長) 3. 議事 (1) 平成 2 8 年度事業について (報告事項) 事務局から説明 (資料 1) (2) 平成 2 8 年度利用状況について (報告事項) 事務局から説明 (資料 2) <意見、質問等> 特になし (3) 平成 2 8 年補正予算 (案) について (協議事項) 事務局から説明 (資料 3) (4) 平成 2 9 年度予算 (案) について (協議事項) 事務局から説明 (資料 4) <意見、質問等> 委員 2 8 年度と比べると市費の補助金が減額されているが、なにか事情があるのか。		

⇒バス停周辺整備を積算した結果、金額が落ちた関係で3万6千円の減額となった。
(事務局回答)

<議決>

会長

- ・平成28年度補正予算(案)及び平成29年度予算(案)について異議ないか。
《異議なし》
- ・平成28年度補正予算(案)及び平成29年度予算(案)について承認した。

(5) 平成29年度事業計画(案)について(協議事項)
事務局から説明(資料5)

<意見、質問等>

委員

交通不便地域について、現在の状況及び解消の考え方について教えて欲しい。

⇒交通不便地域は市内約2割ほどある。ミニバス7路線、ワゴンタクシー2路線は市内の走れるところは、ほぼ網羅して走っている状況です。ミニバス、ワゴンタクシーのサイズで車両制限令の関係で運行できない地域がそのまま2割の交通空白地域になっている。今後は、都が施行する3・4・3号線の川崎街道、北野街道の拡幅、国が施行する日野バイパス延伸などの幹線道路が整備されてきた時、路線バスも含めて交通空白地域の解消に向けて路線網の見直しを行っていききたい。2割の交通空白地域は徐々に減らしていきたいと考えている。(事務局回答)

委員

2割の交通空白地域だが、これは日野市の何に対して2割なのか。また、交通空白地域の定義を教えて欲しい。

⇒先ず割合については面積ベースで行っている。鉄道駅から500m、バス停から200mと定義し、そこから、円を引いてそこでカバーできない部分の面積が、市域の面積に対して2割です。(事務局回答)

<議決>

会長

- ・平成29年度事業計画(案)について異議ないか。
《異議なし》
- ・平成29年度事業計画(案)について承認した。

(6) その他(報告事項)
事務局から説明(資料6)

<意見、質問等>

委員

イベントですが、どれくらいの人数が来たのか。

⇒30周年のイベントは、約165名の参加がありました。このイベントは、例年300人位来ているところですが、当日ゲリラ豪雨があり12時半まで受付のところ11時で受付を締め切った状況で市内、市外、都外も含め165名来場された。
(事務局回答)

委員

ワゴンタクシーの停留所の案内板は、写真で見る限り大きくなく、目立たない感じがするが規格みたいなものあるのですか。

⇒サイズはA3サイズです。ミニバスや路線バスのバス停のようにポールを立てて時刻表を貼って、バス停名を明示する形をとれる箇所が少なく、特に丘陵地の上の方は、民地の方をお願いして塀に貼らせてもらっており、市の手製のもので対応させてもらっている。公道上にスペースがある場合は、ポールを立てて占用させてもらっている。ワゴンタクシー2路線の停留所の7割は雨、風が防げるプラスチック板の簡易的なもので対応している。(事務局回答)

文字は小さくはないですか？

⇒大丈夫です。その辺りの苦情はありません。

ただ、経年劣化のため鉄製の様にしっかりしたものではないので雨風、雪など天候状況で傷みは通常より早いサイクルで来るので、定期的に見回りながら劣化の激しいものについては、随時更新していくことで対応している。(事務局回答)

会長

定期的な現場の見回りはしていただきたいと思います。

委員

ワゴンタクシーで停留所の話が出てましたが、バスみたいに定時運行しているのですか。又は、予約をしたうえで、予約があれば運行しているのですか。

⇒ワゴンタクシーについてもデマンド型ではなく時刻を定めて、乗合の事業として定期的に明星ルートで8本、平山ルートで7本、時刻表に沿った形で運行している。
(事務局回答)

委員

バスの乗車状況を見ると、平山循環路線と落川路線は平成28年度になって急激に利用者が減っている。2割の利用者減ということは何か理由がないと、そうそう減るものではない。一方こういったバスではある程度利用者が特定されている。例えば良く利用していた人が転居するとかで2割ぐらい減ることもあるが、何らかの事情がないとこれだけ減ることはないと思うのですが、何かその辺の事情はつかんで

いますか。

⇒落川路線については10月からの増便結果も含めて利用状況が低迷している。前回の交通会議でも落川路線については落ち込んでいるとの報告をしたが、現在、京王バスとともに分析はしているところですが、答えが出てない状況です。いわゆる生活の足として利用されていたのが、高齢化の影響を受けて、今までは、例えば、バスを買い物などの移動手段として使われていた方々が、バス以外のものに切り替えざるを得ないとか、その利用者の生活環境にも踏み込んでいかないと明確な答えが出ないところですので、その辺りを含めて分析してみたいと考えています。今の段階では答えが出ていないところです。(事務局回答)

委員

ちょっと計算したら2000人ぐらい減っている。2000人ということは1回利用する人が33人減らないと2000人にならない。要するにそれぞれ減って行っているの間にか何年前に比べて減ったといえまだ分るのですけれど、こういうケースは結構分りやすい理由があると思うのですけれど、この辺はどうですか。

⇒利用者数の計測は、現金収入、シルバーパスの利用を合算した形で出していますが、落川路線についてはシルバーパスの利用者が落ちています。その辺に何かヒントがあるのかと思い注視しているところではあります。

ミニバスについては毎日運転手が乗客数をカウントしている訳ではなく、サンプルを取って扱っていますので、サンプル採取の頻度や方法も含めて京王バスと検討しているところです。(事務局回答)

会長

原因を調べてもらいたいと思います。
他に、ご意見、ご質問はありませんか。
なければ本日の議案は終了です。

(事務局)

今後につきましては、先程説明した豊田駅南口のロータリーにつきまして、区画整理事業の関係で移転等が進みますと、随時形状が広がる方向で変わります。区画整理事業者とも連携し、状況の変化に的確に対応し豊田駅南口のロータリーの利便性向上に努めてまいります。

次回会議は、9月ごろ開催を予定しています。

その時には、区画整理事業も進んでいると思われ、豊田駅南口ロータリーの利用方法について委員の方々のご意見を伺う機会がありますので、よろしくお願ひします。

会長

次回までに落川路線、平山循環路線の利用減の理由について調べておいてください。